

横手市議会定例会

所信説明

平成27年12月

目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. はじめに..... | 1 |
| 2. 新たな施策等への取り組みについて..... | 3 |
| (1) 平成28年度予算編成方針について..... | 3 |
| (2) 果樹強風被害対策について..... | 4 |
| 3. 平成27年度事業等の進捗状況について..... | 5 |
| (1) 第2次横手市総合計画の策定状況について..... | 5 |
| (2) 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略について..... | 6 |
| (3) 横手市財産経営推進計画について..... | 8 |
| (4) クリーンプラザよこて整備事業とごみの新分別について..... | 9 |
| (5) 臨時福祉給付金について..... | 10 |
| (6) 雪下ろし雪寄せ支援事業について..... | 10 |
| (7) よこて消雪・融雪推進事業について..... | 11 |
| (8) 雪対策について..... | 12 |
| (9) 農作物の作柄概況について..... | 12 |
| (10) 「園芸メガ団地整備事業」について..... | 14 |
| (11) 市内宿泊施設助成事業の実績について..... | 15 |
| (12) プレミアム付き商品券発行事業について..... | 15 |
| (13) 応援人口拡大事業について..... | 16 |
| (14) 秋田県市町村未来づくり協働プログラムについて..... | 17 |
| (15) 地域伝統芸能全国大会について..... | 18 |
| (16) 学校統合事業について..... | 19 |
| 4. 補正予算について..... | 20 |
| 5. おわりに..... | 21 |
| ※行政一般報告編..... | 23 |

平成27年12月横手市議会定例会の開会にあたり、市政運営に関する基本的な考えとして所信を述べさせていただくとともに、当面する市政の主要な課題についてご説明申し上げ、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. はじめに

今年度は、市制施行10周年の節目に当たり、年度当初から各種記念事業を開催してまいりました。この記念事業を通じて、当市の魅力を広く内外に発信することができ、また、これまで以上に市民の絆と郷土愛を深めることができたものと確信しております。

さて、ほぼ収穫を終えた農作物の状況ではありますが、米の作柄については、「やや良」となっており、また、米の買い取り価格については過去最低だった昨年の概算金の額からはやや持ち直す傾向となっておりますが、稲作農家の皆様にとっては納得のいくものではないものと理解しております。

一方、果樹の状況につきましては、先月上旬に発生した爆弾低気圧や台風23号の影響により、市内全域にわたり果実の落下などの被害が発生しました。まずは被害に遭われた果樹農家の皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。

次に、企業誘致の状況についてではありますが、10月13日に

秋田県の立会いの下、横手市と睦グループとの間で横手第二工業団地への新たな立地に関する協定を締結いたしました。

進出する企業は、東京都町田市に本社を置く「睦特殊金属株式会社」と、同グループで大雄地域に工場を持つ「睦合成工業株式会社」であります。それぞれ来年8月と平成29年4月の操業を目指しております。これに関わる新たな雇用については、2社の操業時合計で36人、将来的には合わせて71人の雇用増が見込まれております。当市といたしましても工場の立地、操業が円滑に開始できるよう、雇用確保のための支援を含め、最大限の協力をしてまいります。

また、東京都江東区に本社を置き、雄物川町大沢地内で操業する株式会社ナラハラニット秋田工場が、福地工業団地に移転進出することも決定しております。来年6月に新工場の建設に着手し、12月から操業を開始する計画であり、雇用者の増員も予定されております。これにより、福地工業団地全区画の分譲が終了いたしました。今後も、企業動向の情報収集に努め、工業団地への誘導や新規立地に向け、秋田県とも連携を密にして取り組んでまいります。

私は、雇用の場があり、経済的な安定をもたらすことが横手に住みたい、住み続けたいと思う人の増加に直接つながる重要なポイントと考えております。現在、策定を進めている「横手市

まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても、雇用の充実と若者の定着に視点を置いた具体的な施策を示し、着実に実行できるよう取り組みを進めてまいります。

2. 新たな施策等への取り組みについて

(1) 平成28年度予算編成方針について

平成28年度は、現在策定中の第2次総合計画を実践していく初年度となります。また同時に、「横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく各種の施策を本格的に展開することとなりますが、多くの施策の中から、特に「人口減少に歯止めを」「産業を育成し雇用を創出する」という2つの施策を平成28年度の最重点施策に掲げたところであります。

一方、財政状況に目を向けると、今年度で普通交付税の合併算定替特例が終了することに加え、人口減少等の影響により、平成28年度から普通交付税の大幅な減額が見込まれることから、今後の一般財源の減少を見据えた予算編成が重要となってきます。

このような状況に対応していくためには、既存事業の選択と集中による見直しを着実に行う必要があります。このため、従来の部局毎の枠配分方式を見直し、施策に対して一般財源を配分する「施策配分型予算編成」を導入いたします。この計画主導・成果

重視の予算編成方式へ移行することにより、限られた財源の中で最大限の効果が発揮できるよう平成28年度の予算編成を進めてまいります。

(2) 果樹強風被害対策について

市内では、10月1日から2日にかけて猛威をふるった爆弾低気圧や8日に最接近した台風23号と立て続けに強風に見舞われ、農業被害、とりわけ果樹の落果による被害が甚大なものとなりました。

県やJAと合同で行った被害調査によると、果樹の落果被害額は、爆弾低気圧による被害が2,142万円、台風23号による被害が1億3,746万円と推計しており、合わせて1億5,000万円を超えております。また、落果は免れたものの、強風の影響により、樹上でスレや傷がついた果実も多く見られることから、被害額はさらに増えるものと予想しております。

特に、りんごの主力品種である「ふじ」については、収穫適期の約1か月前に落果してしまったために、ジュース等の加工用に使用できないという状況にあり、10月23日にはJA秋田ふるさとと秋田県果樹協会から、市と市議会に対して救済支援を求める要望書が提出されました。

これを受け当市では、落下りんごの処分に係わる農家負担の軽減と被災農家の営農経費の資金繰りに対応するため、「果樹強風被害対策事業」を立ち上げ、落下りんごの処分等に要する経費の一部負担と、農業経営安定化対策資金、いわゆる「マル農」の自然災害枠の適用による利子助成を行うこととし、先の臨時議会で議決をいただいたところです。

この他、台風による強風被害の翌週に開催した「よこて農業祭」では、傷がついてしまった中生種^{ちゅうせいしゅ}りんごを「訳ありりんご」として販売する特設ブースを設けたところ、予定数量の2.7トンを大幅に上回る6.3トンを売り上げ、たくさんの市民の皆様からご支援をいただきました。さらに、11月22日にJAが市内で行った「訳ありりんご」即売会においても、販売会場の調整や情報発信などで支援しております。

今後も、樹上被害の状況と営農への影響の把握に努めるとともに、県やJAなどの関係機関と連携し、災害の未然防止に向けて果樹強靱化対策の充実を図ってまいります。

3. 平成27年度事業等の進捗状況について

(1) 第2次横手市総合計画の策定状況について

現在、策定をすすめております第2次横手市総合計画につきまし

では、これまで基本構想の素案及び基本計画のたたき台を議員の皆様にお示しし、各常任委員会にご説明したところです。

今後の策定スケジュールであります。第2次横手市総合計画は、現在12月の完成を目途として並行的に策定作業を行っている横手市版総合戦略との整合性を図る必要があること、また、計画期間満了により今年度中に新たな計画の議決が必要となる新市建設計画や過疎地域自立促進計画等の内容とも大きく関係してくることから、これらの計画の提案とあわせ、基本構想部分の議会への提案は、3月議会を予定しております。

なお、基本構想及び基本計画案につきましては、総合計画審議会の審議と歩調をあわせつつ、今議会中に議員の皆様にお示し、説明を行ってまいります。

(2) 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

横手市版の総合戦略を策定する上で、重要な基礎となる「横手市人口ビジョン」につきましては、ほぼその策定を終えており、国や秋田県版の人口ビジョン等を勘案しつつ、市独自の分析や推計を行った上で本市が目指すべき将来の人口規模や構成を展望しております。

その中で、将来の人口の見通しといたしましては、総合戦略等に

基づいた人口減少への的確かつ効果的な対策を講じることを前提に、国立社会保障・人口問題研究所による推計よりも、それぞれ約4千人から1万人程度増加した状態となるよう、人口の減少幅を抑えた推計としており、25年後の2040年には約68,000人、45年後の2060年には約54,000人と展望しております。

また、今後も続く人口減少の流れは受け入れつつも、「人口減少の緩和」と「各世代の人口構成の適正化」を、当市の人口減少問題に対する目指すべき将来の方向性として位置づけたところがあります。

ビジョンとあわせて策定する「横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、こうしたビジョンの方向性を踏まえ、第2次横手市総合計画で重点目標として位置付けている「働く場を充実させる取り組み」と「安心して子供を産み育てられる環境の構築」に向け、特に若い世代に的を絞った効果的な事業を登載してまいります。

現在の策定状況につきましては、いわゆる産学官に加え、金融機関、労働界、住民代表などで構成している有識者会議の皆様と意見交換を重ねている段階であり、あわせて議員の皆様とも意見交換を行いながら12月中の完成を目途に策定を進めてまいります。

(3) 横手市財産経営推進計画について

計画策定の状況であります。すべての地域づくり協議会において、4月に行った計画（案）の総論の説明に続き、10月には基本計画に基づく各論の個別施設の配置（案）についても説明をいたしました。協議会でのご意見等も参考としながら、この計画の目的である「公共サービスの継続的な実施」や「持続可能な行政経営および地域社会の実現」、「将来世代に負担を先送らない」の達成に向け、総合計画や財政計画との整合性を図る最終段階の作業を進めているところであります。

今後は、具体的な施設の配置や更新時期等をお示しする実施計画（案）について、再度、議会の皆様及び地域づくり協議会にて内容を説明させていただいた後、パブリックコメントを実施し、広くご意見をいただく予定としております。

このようなことから、計画完成の時期が当初予定の12月より少し遅くはなりますが、平成28年4月から実効性のある計画として運用できるよう、その準備をしっかりと進めてまいります。

(4) クリーンプラザよこて整備事業とごみの新分別について

クリーンプラザよこて整備事業の進捗状況は、現在、99パーセントであります。10月27日からごみの搬入が開始され、11月5日から可燃ごみの焼却を開始しており、来年2月まで試験焼却を行います。その後3月末まで性能を検査するための試運転を行ってまいります。リサイクルセンターについても内装や設置した機器類の調整も順調に推移しており、平成28年4月の本格稼働に向け整備を進めております。

なお、持ち込みごみの手数料につきましては、クリーンプラザよこての運営・維持管理業務を民間へ委託する経費から算出しており、これまでごみの体系別に異なっていた料金を全て統一することとしております。

次にごみの新分別についてであります。説明会を地域、各種団体や町内会単位で開催しており、全地域合計で11月末現在330回、延べ約7,000人、平均20人の参加をいただいております。また、説明会の際に、市民の皆様には回収用コンテナ・ネットの管理や保管についてのごお願いもしております。当初予定しておりました地域ごとの説明会はおおむね終了しており、今後も再度要望のあった地域や町内等に伺いながら説明会を開催して、

ごみの分別を周知徹底してまいります。

リサイクルセンターが完成し、試運転が全面的に開始される来年2月には市内全域でごみの新分別の試行が始まります。職員も巡回してまいりますので、地域の皆様のご協力をお願いいたします。

なお、今議会においてクリーンプラザに係る関連条例の改正を提案しておりますので、よろしくをお願いいたします。

(5) 臨時福祉給付金について

臨時福祉給付金につきましては、9月下旬に対象世帯宛に申請書類を送付し、10月1日から本庁舎の社会福祉課及び各地域局の市民サービス課を窓口として申請の受け付けを行っております。受付期間は平成28年1月4日までの3ヵ月間で、現状での給付対象者見込み数は23,000人となっております。

受け付け状況につきましては、10月末時点で11,100人の申請を受領しています。また、申請された対象者に対しては、10月下旬から給付金の給付を開始しております。今後も対象者に対しては給付申請されるようお知らせしてまいります。

(6) 雪下ろし雪寄せ支援事業について

本事業については、9月中旬から雪寄せ作業員の募集を行い、

10月1日に利用希望者の申請の受付を開始しております。また、同月15日には雪下ろし事業者に対する説明会を開催しております。

なお、昨年度、本事業を利用された方々に対してはダイレクトメールでご案内を行い、特に連絡がなかった方につきましては電話で意向を確認いたしております。

11月16日現在、玄関周りの雪寄せの利用申込者は271人、屋根の雪下ろしの申込者は249人となっており、それぞれを担当していただく作業員、事業者もほぼ決定しております。

今後も円滑に作業が進むよう、利用者及び事業者間の調整に努めてまいります。

(7) よこて消雪・融雪推進事業について

本事業については、9月14日から第2次募集を開始したところ、多数の応募をいただき、9月24日をもって受付を締め切りました。

最終的な申請件数は92件、事業費の合計は約6,400万円となり、補助金交付額の4.1倍となりました。

補助対象の内訳といたしましては、除雪機の購入が7割を占め、他は消雪ポンプ・パイプ設備、ロードヒーティング、融雪機といった機器となっております。また、直近のアンケート結果では6割の方が、この事業があったので購入又は設置したと回答して

おり、経済的にも事業効果があったものと感じております。ご利用いただいた皆様には導入した機器等を十分に活用していただきたいと思っております。

(8) 雪対策について

今年度の除雪体制につきましては、昨年同様に早期の降雪に備えて11月1日には出動が可能な除雪体制を構築するため、10月30日に除雪対策本部を設置しております。

車道除雪延長1,055.8kmについて安全な除雪作業を実施するため、除雪作業員を対象とした「安全講習会」を実施し、作業事故防止に向けた意識醸成を行いました。

また、今年度購入議決をいただきました除雪ドーザーや除雪ロータリなど5台の除雪機械についてはすでに納車になっており、各地域局に配備いたしまして出動可能な状態としております。

今冬も安全な冬期交通の確保に向け、効率的できめ細かな除雪作業に努めてまいります。

(9) 農作物の作柄概況について

農林水産省が公表した10月15日現在の水稻の予想収穫量及び作柄概況によると、県南は10アールあたり597キログラムで

作況指数「103」となっており、平年を上回って推移しております。

一方で、10月30日現在におけるJA秋田ふるさと管内の一等米比率は約87パーセントとなっており、品質低下が見受けられます。この原因としては、カメムシ被害による着色粒が大部分を占めており、今後、関係団体との連携を図りながら品質の向上に向けた取り組みを進めてまいります。

「野菜・花き」については、^{からつゆ}空梅雨や盆過ぎの長雨の影響が多少あったものの、おおむね順調に推移し、販売額では、ほとんどの品目で前年度を上回っております。中でもスイカは高単価に恵まれ、JA秋田ふるさとの販売額は、昨年度比38パーセント増の約14億6,000万円となりました。

次に、「果樹」であります。収穫が終了した「ぶどう」は、これまでの復旧対策と春先の好天により品質も良く、11月17日までのJA出荷分の実績は、数量が302トン、販売額が1億2,600万円となっており、前年度実績を上回る見込みとなっています。

「りんご」については、JAでは、販売額ベースで雪害前の60パーセントに当たる7億6,000万円を計画しておりましたが、10月上旬の暴風での落下などによる被害額が

1億5,000万円に上っており、さらに、これから出荷の最盛期を迎える主力品種の「ふじ」については、傷の被害が多数あるため、今後の販売への影響が心配されております。

(10) 「園芸メガ団地整備事業」について

平成29年度までの3ヵ年で十文字越前地区に整備する計画の園芸メガ団地整備事業については、事業内容の見直しにより、今年度で全て完了するよう計画を変更して進めております。

事業の進捗状況としては、パイプハウスなどの施設工事及び機械設備の導入は、おおむね11月中に終了しており、30棟のパイプハウスで今年度からほうれん草が作付されております。

メガ団地で作付された作物の今年度の販売状況については、きゅうりが約1,490万円、スイカが約740万円、菊が約690万円で、実績が確定していない、ほうれん草を除いた合計販売額が、おおよそ3,000万円となっております。

今後、本格的に生産が開始される平成28年度以降、目標である年間販売額1億円の達成に向けて、県やJAなどの関係機関と連携しながら園芸メガ団地の育成を進めてまいります。

(11) 市内宿泊施設助成事業の実績について

ゴールデンウィーク後の5月15日から8月9日までの間、市内のホテル・旅館等の23の宿泊施設において実施いたしました、「週末は“おトクに”横手に泊まろうキャンペーン」につきましては、約3カ月の事業期間で、延べ15,333泊に対して、約3,800万円の助成を行いました。

宿泊いただいたお客様には、宿泊の目的や支出予定額などについてのアンケート調査をお願いしており、個人や団体旅行の代表者などから約7,900件の回答をいただいております。

今回の事業に参加いただいた宿泊施設の、前年同月の宿泊実績と対比すると約8パーセントの伸びが見られ、宿泊施設の関係者からも「お客様に大変喜んでいただき、またこのような事業があれば参加したい」との声をいただいております。

この事業がきっかけとなり、横手を訪れた方々がリピーターとして観光に訪れていただけるよう、今後も事業者と連携しながら、滞在型観光の誘客推進を図ってまいります。

(12) プレミアム付き商品券発行事業について

プレミアム付き商品券の利用状況につきましては、10月末現在で一般世帯分、多子世帯分を合わせますと84パーセントと

なっております。

多子世帯分の販売状況につきましては、10月末現在で発行予定数の約85パーセントとなっております。商品券購入の際に必要な多子世帯証明証は、すでに対象となっている964世帯に発行しており、新規対象世帯に対しては引き続き証明証を発行し、商品券の活用を勧めてまいります。どちらの商品券も使用期限は12月31日までとなっておりますので、買い忘れ、使い忘れがないよう、引き続き市報やホームページ、コミュニティFMなどで周知に努めてまいります。

(13) 応援人口拡大事業について

首都圏各ふるさと会の会員及び当市にゆかりのある方に対して、ふるさと横手の情報を提供する交流情報紙「横手ファン通信」を9月と11月に発行し、県外に住む約2,500名の方々へ発送したほか、市主催のイベント等でも配布しております。

発行後、情報誌を受け取られた方からは、ふるさとを懐かしむ声や「各種イベント、首都圏での高校同窓会等で配り横手を紹介したい」といった声、また、市報やホームページをご覧いただいた方からは「県外に住む親せきにも送りたい」といった声など、予想以上の反響をいただいているところです。

また、9月にリニューアルしたふるさと納税制度において、希望いただいた方を「横手市応援市民」として登録しておりますが、その皆様へも送付を行っております。

今年度は3回、次年度以降は年4回の発行を予定しておりますが、寄せられたご意見、ご要望を参考に、読みやすく、見やすい紙面づくりに努めてまいります。また、掲載内容の充実を図りながら、読者に親しまれる情報紙を目指し、物産振興や交流人口の増加へも結びつくよう今後も努力、工夫を重ねてまいります。

(14) 秋田県市町村未来づくり協働プログラムについて

県と市町村が協働で取り組む「秋田県市町村未来づくり協働プログラム横手市プロジェクト」につきましては、「まんが原画を活かした交流人口拡大プロジェクト～『よこて版クールジャパン』の推進～」として、県と市で構成するプロジェクトチームで、基本方針について検討を重ねてまいりました。

このプロジェクトにより、積極的な原画収集による「まんが原画収蔵数世界一」を目指し、来館する方々に美術品としてのまんが原画をより近い距離で鑑賞していただき、まんが原画の持つ質感や雰囲気を感じられる独自性ある施設を創りたいと考えております。

また、増田の町並みとまんが美術館を双方向で結ぶ環境を整備し、

一体的な観光拠点としての相乗効果を図るとともに、まんがを通じた子供育成事業を行い、将来を担う子供たちにとって、住みたい、住み続けたいまちづくりを目指してまいります。

この案については、12月中に県と市がそれぞれの議会に対して同時にご説明することといたしております。そして、1月中旬には正式にプロジェクト案を県に提出し、承認された後、3月定例会においてご審議いただく予定としております。

「伝統」と「まんが」という異なる日本文化が隣り合わせに存在している地域特性を最大限に活かし、横手市の発展につなげられるよう、今後も皆様のご意見を伺いながら計画を進めてまいります。

(15) 地域伝統芸能全国大会について

10月11日と12日の2日間にわたり、地域伝統芸能全国大会「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会あきた」が開催されました。全国各地や海外から出演者約800人、そして多くの来場者をお迎えして行われた地域伝統芸能公演は、時折の雨模様という天候にもかかわらず、同時開催イベントを含めると約2万6,000人の人出で賑わいました。

昨年の国民文化祭、そして今回の全国大会の開催を通じて、伝統芸能や祭りを観光素材としていっそう磨き上げる場の提供により、

横手を全国に向けて大いに発信できたものと確信いたしております。

全国大会の開催にあたり、企画及び運営に携わっていただきました関係団体の皆様、そしてご来場いただいた多くの市民の皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

(16) 学校統合事業について

来年4月の開校に向け建設中の横手北小学校につきましては、プールと付属棟、スクールバス車庫はすでに完成し、校舎棟の躯体工事と体育館棟の外装工事、グラウンドなどの外構工事もほぼ終えております。工事は順調に進んでおり、10月末現在の進捗率は65パーセントとなっております。

小学校統合に伴う既存の3小学校の閉校式典につきましては、来る12月5日の境町小学校を皮切りに、12月12日に黒川小学校、12月19日に金沢小学校で挙行する運びとなっております。

第2次学校統合計画となる山内中学校の横手南中学校への編入統合につきましては、引き続き、山内小学校PTAなどの場において保護者に対し、負担軽減策の説明などを重ねてまいります。

また、十文字地域の4小学校統合につきましては、統合小学校の建設候補地に関する説明会を、10月中旬に地域の3会場にて

開催いたしました。説明会や議会で出された意見を参考に、さらなる検討のうえ候補地を決定し、事業化を推進してまいりたいと考えております。

4. 補正予算について

今議会に提案しております一般会計補正予算についてご説明申し上げます。

今回の補正は、ふるさと納税PR事業、臨時福祉給付金給付費、ごみ収集費、クリーンプラザよこて整備事業、担い手への農地集積推進事業などが主な内容となっております。

補正額は1億3,200万円で、補正後の予算総額は5億9,263万5千円です。

主な事業を申し上げますと、

| | | |
|------------------|----------|---|
| ◎ ふるさと納税PR事業 | 1,135万 | 円 |
| ◎ スポーツのまちづくり事業 | 500万 | 円 |
| ◎ 要援護者台帳整備事業 | 114万4千 | 円 |
| ◎ 臨時福祉給付金給付費 | 600万 | 円 |
| ◎ ごみ収集費 | 1,178万6千 | 円 |
| ◎ クリーンプラザよこて整備事業 | 3,336万9千 | 円 |
| ◎ 担い手への農地集積推進事業 | 2,047万7千 | 円 |

などであります。

5. おわりに

今議会に提案しております案件は、同意案件 1 件、専決処分報告案件 2 件、条例の制定など条例関係 9 件、その他案件 1 件、平成 27 年度一般会計補正予算案など補正議案 9 件の合計 22 件であります。

以上、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げまして、所信説明といたします。

行政一般報告編

～ 9月議会定例会以降の行事等について ～

平成27年9月議会定例会以降の行政一般報告

| 目 次 | P. |
|--------------------------------------|----|
| (1) 市制施行10周年記念事業について | 25 |
| (2) 総合防災訓練について | 25 |
| (3) 岩手県立不来方高校音楽部コンサートについて | 25 |
| (4) スポーツのまちづくり事業(ベースボールクリニック)について | 25 |
| (5) 秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたランについて | 26 |
| (6) パナソニックパンサーズ バレーボール教室inYOKOTEについて | 26 |
| (7) 市民スポーツ交流大会(グラウンドゴルフ大会)について | 26 |
| (8) 第55回奥羽横断駅伝競走大会について | 26 |
| (9) 平成27年度 東京かまくら会総会について | 27 |
| (10) 第45回横手地域市民文化祭について | 27 |
| (11) 第92回増田の花火について | 27 |
| (12) 第50回りんごまつりにについて | 27 |
| (13) 第10回増田蔵の日について | 28 |
| (14) 横手市増田まんが美術館開館20周年記念式典について | 28 |
| (15) 第30回首都圏増田会総会について | 28 |
| (16) 浅舞八幡神社祭典について | 28 |
| (17) 平鹿地域敬老会について | 29 |
| (18) 福祉健康まつりにについて | 29 |
| (19) 平鹿りんご味覚まつりにについて | 29 |
| (20) 東京平鹿町会総会並びに物産販売について | 29 |
| (21) こころの健康づくり・鎌田實講演会について | 30 |
| (22) 第45回雄物川芸術文化祭の実施について | 30 |
| (23) 「東京都大田区大森」との交流について | 30 |
| (24) 第44回大森地域文化祭について | 30 |
| (25) おおもり健康まつりにについて | 30 |
| (26) 首都圏十文字会交流事業について | 31 |
| (27) 十文字秋の収穫祭2015について | 31 |
| (28) 十文字地域敬老会について | 31 |
| (29) いものこまつりin鶴ヶ池について | 31 |
| (30) 山内にんじんについて | 32 |
| (31) さんない古里会総会について | 32 |
| (32) 第38回山内文化祭の実施について | 32 |
| (33) 山内地域子育て支援ネットワーク委員会子育て講演会について | 32 |
| (34) 集落座談会について | 33 |
| (35) 大雄地域スポーツレクリエーション大会について | 33 |
| (36) 徘徊見守り訓練について | 33 |
| (37) 第9回大雄芸術文化祭について | 33 |
| (38) たいゆう緑花園押し花コンテストについて | 33 |
| (39) ちびっこわくわくフェスティバルについて | 34 |
| (40) 「児童虐待・DV防止講演会」開催について | 34 |
| (41) 市制施行10周年記念「よこて農業祭」について | 34 |
| (42) 横手ものづくりネットワーク会議について | 34 |
| (43) 第47回よこて菊まつりにについて | 35 |
| (44) 第2回雄物川郷土資料館特別展について | 35 |
| (45) 創作子ども歌舞伎「御存知後三年蛙會戦」上演について | 35 |
| (46) 金沢柵推定地金沢城跡発掘調査現地説明会について | 35 |
| (47) 平成27年度秋田県文化財保護協会県内研修会について | 35 |
| (48) 図書館資料デジタル化事業について | 36 |
| (49) 幼保小連携に係る相互理解のための研修会の実施について | 36 |

平成27年9月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概要等 |
|----------|---|
| 総務部 | <p>市制施行10周年記念事業について</p> <p>10月3日、『「絆」～これまで、いま、そして～』をテーマに、市制施行10周年記念式典を横手市民会館で開催しました。当日は、式典及び記念公演を開催し、来賓や市民など約600人に出席いただきました。</p> <p>第1部の式典では、横手市表彰条例に基づき、地方自治功労者、教育学芸等功労者、公益寄与・公務協力者16名の表彰を行ったほか、市に対して寄附や寄贈をいただいた17名に対して感謝状を贈呈しました。第2部の記念公演では、10年間の歩みを映像で振り返ったほか、各地域の伝統芸能が市民によって披露されました。</p> <p>式典終了後に開催した記念祝賀会には、約150人が出席し、10周年の節目を祝い、市民の絆を深めました。</p> |
| 総務部 | <p>総合防災訓練について</p> <p>9月13日、十文字地域を会場に、関係者及び木下集落の住民等約130人の参加の下、「災害発生時における避難行動要支援者の実効性のある避難及び避難支援の実施」を主なテーマとして、横手市総合防災訓練を実施しました。訓練では、避難から避難支援そして福祉避難室設置、広域搬送までの一連の流れを訓練しました。</p> <p>今回の訓練では防災関係機関はもとより、教育機関として十文字第一小学校、民間から羽後交通、秋南タクシー、みちのくコココーラボトリング、NTTドコモから参加をいただき、それぞれの役割等を確認し合いました。</p> <p>当日は、地域福祉の観点から民生児童委員、地域づくり協議会委員にも視察いただきました。</p> |
| まちづくり推進部 | <p>岩手県立不來方高校音楽部コンサートについて</p> <p>10月4日、横手市民会館を会場に「岩手県立不來方高等学校音楽部コンサート」が行われました。昨年の、国民文化祭合唱フェスティバルでの感動を再びと会場に足を運んだ約500名の観客を、音楽部員男女41名の透明感あふれる歌声で魅了しました。歌は、二部にわたって披露され、横手市民歌から始まり、全国大会の課題曲や馴染みのある歌謡曲などバラエティに富み、最後の「ふるさと」では部員と観客が手をつなぎながらの大合唱となり、その一体感に思わず涙する人の姿もありました。</p> <p>不來方高校は、その後行われた「全日本合唱コンクール全国大会」高校Aグループの部(出場13校)で見事金賞を獲得し全国一に輝いております。</p> |
| まちづくり推進部 | <p>スポーツのまちづくり事業(ベースボールクリニック)について</p> <p>8月29日と30日の両日、スポーツのまちづくり事業の一環として、多数のプロ野球選手を輩出している日産自動車硬式野球部の元選手を招聘し、ベースボールクリニックを開催いたしました。本事業は、昨年に引き続き5回目の開催となります。</p> <p>ベースボールクリニックでは、高校進学後硬式野球に挑戦する意欲のある、市内中学校の3年生50名を対象に「横手市から甲子園へ」を合言葉に、シートノックや打撃練習等の技術指導を受けました。</p> |

平成27年9月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概 要 等 |
|-----------------|---|
| まちづくり推進部 | <p>秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたランについて</p> <p>9月13日、「秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン」が、秋田ふるさと村を発着点として、市街地特設コース9区間29.2キロメートルで開催されました。県内25市町村を代表する36チームの選手、スタッフ577名の参加をいただき、熱いレースが展開されました。横手市チームは市の部で5位と健闘いたしました。</p> <p>前日からは、ご当地自慢フェスティバルやランニングイベントなどの賑わい創出イベント等も併せて行われ、スポーツ立市よこてを全県にアピールすることができました。</p> |
| まちづくり推進部 | <p>パナソニックパンサーズ バレーボール教室inYOKOTEについて</p> <p>9月26日と27日の両日、横手南中学校、十文字中学校を会場に、Vプレミアリーグの強豪チームであるパナソニックパンサーズを招聘し、「バレーボール教室inYOKOTE」を開催しました。秋田県中学校選抜男女バレーボールチームの選手及び市内中学校バレーボールチームの選手、そして観客を含め延べ約500名の参加をいただきました。</p> <p>バレーボール教室では、パナソニックパンサーズの選手の皆様に、参加チームの選手のみならず、保護者や市民の方々とも交流を深めていただきました。</p> |
| まちづくり推進部 | <p>市民スポーツ交流大会(グラウンドゴルフ大会)について</p> <p>10月22日、赤坂総合公園グラウンドゴルフ場を会場に、スポーツ推進員が運営主体となり、健康増進、生涯スポーツの推進を目的に、市民スポーツ交流大会(グラウンドゴルフ大会)が開催されました。当日は、市内から約180名の参加をいただき、さわやかな秋空の下、プレーヤー相互の親睦と地域間の交流を深めました。</p> |
| まちづくり推進部 | <p>第55回奥羽横断駅伝競走大会について</p> <p>10月31日から11月1日にかけて、「第55回奥羽横断駅伝競走大会」が行われました。</p> <p>今大会では、北上一西和賀間の国道107号線が土砂崩れによる通行止めとなっていたため、スタート地点を西和賀町として、西和賀町、横手市、由利本荘市の全12区間、110.3kmで競技を行いました。県対抗の部、一般の部、高校の部、合わせて32チームの参加があり、高校チームとして横手市混成チームも参加しました。</p> <p>晩秋の奥羽路を襷をつなぎながら疾走する選手に、沿道から大きな声援が送られていました。</p> |

平成27年9月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概 要 等 |
|----------------------------|---|
| まちづくり推進部 (横手地域局) | 平成27年度 東京かまくら会総会について 9月12日、東京都千代田区にあるアルカディア市ヶ谷を会場に、首都圏在住の横手地域出身者による恒例の「東京かまくら会」総会が開催されました。 この総会は、会員相互の親睦を深めるとともに横手市との連携と協力強化を目的として、毎年開催されています。横手市からは、石山副市長をはじめ市関係者、横手地域づくり協議会委員、商工関係者、また、在京の他地域ふるさと会関係者などが出席し、総勢140余名の総会となりました。総会終了後には、横手市在住のシンガーソングライター塩田明子さんによるミニコンサートが行われ、素晴らしい歌声が出席者を魅了していました。 懇親会では友人、知人との再会を喜び合い、近況報告や横手の話題について語り合う姿が見られました。また、会場内に設置された「物産販売コーナー」では、懐かしい味を買い求める多くの人たちで賑わいました。 最後は、会場が一体となって、ふるさと横手に思いを馳せながら「青い山脈」を歌い、来年の再会を約束し、盛会裏のうちに閉会となりました。 |
| まちづくり推進部 (横手地域局) | 第45回横手地域市民文化祭について 9月26日と27日の2日間、横手市民会館で横手地域市民文化祭を開催しました。「きずな」をテーマに62団体から参加をいただき、来場したおよそ1,500名の市民が各団体の日頃の活動成果を堪能しました。ステージ会場では、日本舞踊、民謡、バレエ、ダンス、ピアノ、和太鼓等の発表が行われ、展示会場では美しい生け花や書道、絵画、陶芸等の力作が展示されました。また、特設コーナーで行われたお茶会では、和やかな雰囲気の中、作法の説明を受けながら、抹茶とお菓子が振る舞われました。来場者と参加者の交流が深まる有意義な文化祭となりました。 |
| まちづくり推進部 (増田地域局) | 第92回増田の花火について 大正時代から引き継がれ、県内随一の開催数を誇る「増田の花火」が、一般社団法人増田町観光協会の主催で9月14日に開催されました。 台風の影響により開催が心配されたためか、例年に比べて少ない、約48,000人の観衆となりましたが、無事に打ち上げられた約5,000発の花火が、県内外から訪れた多くの花火ファンを魅了しました。開催にあたり、多くの市民、企業の皆様からご協賛をいただいたことに感謝申し上げます。 |
| まちづくり推進部 (増田地域局) | 第50回りんごまつりについて 10月11日、「第50回真人公園りんごまつり」が、一般社団法人増田町観光協会主催で真人公園を会場に開催されました。メインイベントのミスりんごコンテストには、市内外から13人の応募があり、うち3人の方が「第50代ミスりんご」に決定しました。今回ミスりんごに選ばれた方には、今後は、市のキャンペーンレディとして、観光PR活動などでご活躍いただきます。この他、会場では、りんごの皮むき競争やリンゴの唄コンテストなど、多彩なイベントが催されました。 当日は、悪天候ではあったものの、りんごや野菜の即売等は商品を買求める方で混雑するなど盛況ぶりを見せておりました。 |

平成27年9月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概 要 等 |
|----------------------------|--|
| まちづくり推進部 (増田地域局) | 第10回増田蔵の日について 「第10回増田蔵の日」が10月4日に蔵の日実行委員会主催のもと開催され、多くの県内外からの観光客で賑わいました。 今年で10回目を迎えたこの日は、初公開の蔵を含め26棟が公開されました。 また、増田中学校の全校生徒による蔵の解説や各種イベントへの協力により、会場を大いに盛り上げていただきました。 |
| まちづくり推進部 (増田地域局) | 横手市増田まんが美術館開館20周年記念式典について 10月24日、横手市増田まんが美術館の開館20周年記念式典が、矢口高雄名誉館長はじめ60名の関係者の出席の下、盛大に開催されました。式典の最後には、京都精華大学副学長、吉村和真教授による基調講演が行われました。翌日には、横手やきそば四天王に対して、料理人を題材にしている漫画家による「勝手に戦いを挑むやきそば対決！！」が行われました。漫画家チームは、地元の食材を利用し、独創的な焼きそばを来場者に振る舞い、会場は大変盛り上がりしました。 |
| まちづくり推進部 (増田地域局) | 第30回首都圏増田会総会について 11月15日、「第30回首都圏増田会総会」が、東京都東上野にある会場で、約130人の参加者の下、盛大に開催されました。総会では、これまで長年にわたり会の運営にご尽力された6名の会員に対して感謝状が贈呈されました。 交流会では、会員有志による民謡やカラオケなどのアトラクションが披露されました。参加した会員の皆さんは、ふるさとの地酒や漬物、増田から駆けつけた地元のお母さん達の作った郷土料理に舌鼓を打っていました。 また、物産コーナーでは、ふるさとのお土産や食材を懐かしげに買い求めていました。 |
| まちづくり推進部 (平鹿地域局) | 浅舞八幡神社祭典について 9月19日、20日の2日間にわたり浅舞八幡神社祭典が開催されました。 19日の宵祭には、豪華な飾りと人形を築山に配した「飾り山車」10台と「踊り山車」1台が平鹿地域局前の目抜き通りに揃い、お囃子、民謡、手踊りの競演が繰り広げられました。 地域局前の手づくり屋台村では、地元商店や街商、フリーマーケットが出店して祭りを盛り上げました。フィナーレには、迫力ある花火が秋の夜空を色鮮やかに彩り、訪れた約13,500人の来場者が秋の伝統行事を楽しみました。 また、浅舞街部地区会議が中心となり、スタンプラリーや地元の子供たちによる曳き山車体験を実施し、祭りを支援しました。 今後も、地域の伝統文化の継承に努めるとともに地域の活性化を図ってまいります。 |

平成27年9月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概要等 |
|----------------------------|---|
| まちづくり推進部 (平鹿地域局) | 平鹿地域敬老会について 9月24日、25日、26日の3日間、浅舞、醍醐、吉田地区の順で平鹿地域敬老会を平鹿生涯学習センターで開催しました。 この事業は、長年にわたり地域社会を支えてきた高齢者の皆様への感謝の意を込め、9月の敬老月間開催しているものです。 今年度は3地区合わせて404名の参加がありました。敬老会では、米寿を迎えられた35名の皆様に賀詞とお祝金が贈呈されました。 祝宴では、余興として保育園児や平鹿芸術文化協会会員の歌や踊りが披露されたほか、参加者全員へ記念写真をプレゼントするなど、終始和やかな雰囲気の中で会が進められ、ご参加いただいた皆様からもご好評をいただきました。 |
| まちづくり推進部 (平鹿地域局) | 福祉健康まつりについて 10月20日、元気の出る地域づくり事業による「福祉健康まつり」がゆとり館で開催され、約270人の来館者で賑わいました。 会場では健康チェックコーナーとして、保健師による血圧測定や健康相談、タッチパネル方式物忘れ相談システムを活用した認知症予防診断のほか、栄養士と横手市食生活改善推進協議会平鹿支部の協力による健康料理の試食コーナーや結核予防婦人会平鹿支部による健診の勧奨活動を行い、来場者に健康への関心を高めていただきました。 また、当日は健診で来館した乳幼児約200人の写真パネル展示、浴場の無料開放やアトラクションとして「歌謡ショー」を開催し、多くの方々に楽しんでいただき、福祉と健康の向上に繋がるイベントとなりました。 |
| まちづくり推進部 (平鹿地域局) | 平鹿りんご味覚まつりについて 11月3日、「第15回平鹿りんご味覚まつり」が、ときめき交流センターゆっふるを会場に開催されました。 これは、平鹿りんごの産地PRと販路拡大につなげるため、関係自治会・JA・県果樹試験場・醍醐地区会議の協力を得ながら開催しているものです。 当日は醍醐保育園児による太鼓の演奏でオープニングが飾られ、餅まきやりんごを使ったゲームなどで、県内外からの来場者との交流を深めました。 また、会場内のテント村では地元農産物の販売やりんごの詰め放題、特設りんご園でのりんご狩り体験などが行われ、大変好評をいただきました。「ゆっふる」の名物となっている、甘い香りのりんごが浮かんだ「りんご風呂」も好評で、多くの来場者に楽しんでいただきました。 |
| まちづくり推進部 (平鹿地域局) | 東京平鹿町会総会並びに物産販売について 11月8日、東京都墨田区「東武ホテルレバント東京」において、第41回東京平鹿町会総会並びに交流会が開催されました。当日は来賓や会員114人が出席し、地酒や地域の特産など、ふるさとの味を堪能しながら交流を深めました。 会場内に設置された「ふるさと物産コーナー」は、地酒、漬物、昆布、豆腐カステラなど、ふるさと平鹿の特産品を買い求める会員で賑わいました。また、地元で行われているイベントポスターも展示し、さまざまな観光行事を積極的にPRしました。 併せて、11月8日、9日の2日間、東京都豊島区「スーパーサカガミ駒込店」において平鹿地域の農産物と特産品の販売を行いました。これは、市が株式会社サカガミと結んだ「地域活性化に関する包括連携協定」による取り組みの一環として行われたもので、生産者が直接店頭販売で平鹿の旬の味覚をPRし、多くのお客様にお買い求めいただきました。 |

平成27年9月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概 要 等 |
|-----------------------------|--|
| まちづくり推進部 (雄物川地域局) | こころの健康づくり・鎌田實講演会について 10月12日、雄物川コミュニティセンターを会場に、医師で作家の鎌田實氏による講演会『「がんばらない」けど「あきらめない」～命を支えるということ～』を開催しました。元気の出る地域づくり事業の一環として、心の健康づくりを目的に企画したもので、市内外から約250人の来場者がありました。会場では手話通訳なども行われ、終了後は、鎌田實氏によるサイン会も開催されました。 |
| まちづくり推進部 (雄物川地域局) | 第45回雄物川芸術文化祭の実施について 10月16日から18日までの3日間、雄物川コミュニティセンターを会場に「第45回雄物川芸術文化祭」が開催されました。これは雄物川芸術文化協会主催で行われたもので、小学生の部374点、一般の部374点、雄物川町芸術文化協会所属団体の部140点の合計888点の作品が展示されました。18日の芸能発表では11団体153人が出演し、日頃の鍛錬の成果を多くの観客を前に発表しました。 |
| まちづくり推進部 (大森地域局) | 「東京都大田区大森」との交流について 地名の縁による、東京都大田区大森地区との小学生同士の交流や物産販売は、平成6年から続いております。 今年は、7月に大田区立大森第三小学校の児童ら17人が大森地域を訪れ、農作業体験や地元大森小学校児童とのレクリエーションによる交流を行いました。また、10月には大森小学校児童ら13人が大田区を訪れ、太田市場見学や体験学習を行い、お互いの地区の交流を通して両地域の認識を深め合いました。 また、10月29日には大田区大森町商店街での農産品販売、11月7～8日は「OTAふれあいフェスタ2015」で、安全・安心な「秋田・大森産農産物」をPRし、併せて商店街事務局と今後の交流の在り方についての意見交換等も行いました。 |
| まちづくり推進部 (大森地域局) | 第44回大森地域文化祭について 10月24日から30日までの7日間、大森コミュニティセンターにおいて大森地域文化祭を開催しました。地元小学生や市民による習字や書道、絵画、生花など多くの作品が出品され、来場者は芸術の秋を満喫していました。また、25日には約600人にご来場いただき、野菜や農産加工品をご購入いただいたり、恒例となった大森芸術文化協会会員による芸能発表会やJA秋田ふるさと主催による民謡ショーを楽しんでいただきました。そして、最後は抽選会や餅まきで盛り上がりました。 |
| まちづくり推進部 (大森地域局) | おおもりの健康まつりについて 今年は県南部老人福祉総合エリアと合同で「おおもりの健康まつり&エリア秋の祭典」を11月1日に開催しました。会場となったエリアでは、作品展示やお茶会、健康や介護相談のほか、物産販売や試食コーナーなど多くの催しが行われました。特に、オリンピック金メダリストの森末慎二さんの講演では、和やかな雰囲気の中、参加者は貴重な話に耳を傾けていました。また、大森元気大使・小田島純子さんの民謡ショーでは、華やかな踊りや歌に盛んな拍手が送られ、来場した約500人の方々に楽しい秋の一日を過ごしていただきました。 |

平成27年9月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概 要 等 |
|-----------------------------|---|
| まちづくり推進部 (十文字地域局) | 首都圏十文字会交流事業について 10月2日から4日までの3日間、首都圏十文字会創立30周年事業と市制施行10周年記念式典にあわせて、三輪会長を始め20名が来横されました。 初日は、地域づくり協議会委員を中心とした地元住民との交流会、2日目は十文字産の蕎麦粉を用いての蕎麦打ち体験や新米のおにぎり、食用菊等の郷土料理を味わうなど地元の料理等を懐かしむ時間を過ごしていただき、最終日には、地元のリンゴ園やブドウ園で、収穫体験や試食などを通して、地元の方々との交流を深めていただきました。 併せて、市から会員の皆様に対し、9月から開始したふるさと納税の返戻品制度について、PRを行いました。 |
| まちづくり推進部 (十文字地域局) | 十文字秋の収穫祭2015について 11月7日と8日、時折小雨がぱらつくなか、道の駅十文字を会場に「十文字秋の収穫祭2015」が開催され、2日間で9,444人が訪れました。今年も昨年に引き続き新そばと新品種の新米試食会が行われたほか、市内外のよさこいチームによるパフォーマンスが披露され会場は熱気に包まれました。最後に行われた餅まきならぬ‘麵まき’では子供から大人まで参加いただき、大いににぎわいました。 また、会場の一角では親子による除雪車の体験乗車と撮影会が行われ、冬本番に向けて除雪機械の危険性を実感していただくとともに、除排雪マナーを再認識していただきました。 |
| まちづくり推進部 (十文字地域局) | 十文字地域敬老会について 9月9日は十文字・三重地区の方々、10日は植田・睦合地区の方々を対象に、西地区館多目的室において「敬老会」を開催しました。両日とも過ごしやすいた候に恵まれ、2日間で467名の参加をいただきました。 式典では、今年米寿を迎えられた107名中、参加いただいた38名の方々に対して、市長から直接賀詞状が送られ、嬉しそうに受け取られておりました。 当日の出し物の一番人気は、地元4保育所の園児たちによる元気な歌とヨサコイ踊りでした。お孫さんや曾孫さんが登場すると大きな掛け声や拍手で応援していました。子供たちが踊りを間違えるのもご愛嬌で、会場の中は笑いが絶えず、楽しい時間を過ごしていただきました。 参加された方々は、来年の再会を願い、今後ますます健康に過ごすことを誓っておられました。 |
| まちづくり推進部 (山内地域局) | いものこまつりin鶴ヶ池について 9月20日、鶴ヶ池公園を会場に、山内地域特産の「いものこ」を楽しむイベント、「第29回いものこまつりin鶴ヶ池」が開催され、好天のもと約39,000人の来場者で賑わいました。 当日は「いものこ」をはじめとした特産品販売が行われたほか、山内名物「いものこ汁」の即売コーナーには長い行列ができ、用意した4,000食が完売するなど大盛況でした。また、‘全国いものこピラミッド競技大会’には市内外から36組のご参加をいただき、この他にも地元の芸術文化協会の歌や踊り、演歌歌手の瀬口侑季さんのステージショーなど、多彩なイベントが行われました。 夜は花火大会が行われ、鶴ヶ池からの水中花火やスターメインなど約3,500発の花火が打ち上げられ、秋の湖面を彩る迫力満点の水中花火を楽しんでいただきました。 |

平成27年9月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概 要 等 |
|----------------------------|---|
| まちづくり推進部 (山内地域局) | 山内にんじんについて 秋田の伝統野菜「山内にんじん」の生産拡大に、「山内にんじん生産者の会(会員36名)」を中心に取り組んでおります。9月30日には適切な圃場管理を目的として、秋田県農業試験場のご指導のもと、圃場巡回視察及び栽培研修会が行われました。 また、今秋開催された第138回秋田県種苗交換会に「山内にんじん」を出品し、ニンジン部において1等賞1名、2等賞2名、3等賞2名という結果になりました。 11月15日には「山内にんじんフェア」を道の駅さんないを会場に行い、山内にんじんの即売や、試食コーナーなどでPRを行いました。 「山内にんじん」は伝統野菜としての注目が集まってきており、秋田県からも秋田発ジャパン・ブランド育成支援事業において「あきたの逸品」として認定されるなど、年々その価値も高まってきていることから、引き続き生産者の会を中心として栽培の拡大に取り組んでまいります。 |
| まちづくり推進部 (山内地域局) | さんない古里会総会について 11月1日、「第28回さんない古里会総会」が東京都内で開催され、108人が参加しました。 参加者は、久しぶりの再開とあって、故郷山内の思い出や近況などについて大いに語り合っていました。また、会場内では、「ふるさと物産展」も開催され、大変ご好評をいただきました。 総会には、山内地域から地域づくり協議会委員5人のほか、中学校の同期会でチラシを配付し会員の勧誘に協力いただいた同期会実行委員や市民の方々など、合わせて13人が参加し、会員の皆様との交流を深めていただき、大変有意義な会となりました。 また、総会に先立ち、古里会活動の活性化や会員の拡充に向けて、古里会役員と地域局との意見交換会を開催しました。今年も同期会での呼びかけにより新規加入会員が7人となるなど、これまでの取り組みによる成果も上がってきており、今後も連携を密にしながら会の交流、運営を図っていくことを確認しました。 |
| まちづくり推進部 (山内地域局) | 第38回山内文化祭の実施について 10月24日、25日の両日、山内体育館を会場に「第38回山内文化祭」が開催され、530人の来場をいただきました。展示部門には絵画、書、木工品などが出展され、園児・小学生・中学生から287点、一般から340点の合計627点の作品が展示されました。24日の芸能発表には、10団体73人が出演し、会場に詰めかけた観客に対して、日頃の鍛錬の成果を披露し、出演者には、盛んな拍手が送られていました。 |
| まちづくり推進部 (山内地域局) | 山内地域子育て支援ネットワーク委員会子育て講演会について 10月22日、山内小学校体育館を会場に、元気の出る地域づくり事業の一環として子育て講演会「らんま先生のeco実験パフォーマンスショー」が開催されました。 講演会には、山内小学校の児童128人、山内中学校の生徒64人、各校の先生や保護者、一般の方々58人の合計250人の参加がありました。 講演会では、環境問題と科学実験を融合した参加型のパフォーマンスショーや現在の仕事を切り開くに至った講師の実体験が語られ、子供たちにとって環境問題や将来の仕事を考える上での良い機会となりました。 |

平成27年9月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概 要 等 |
|----------------------------|---|
| まちづくり推進部 (大雄地域局) | 集落座談会について 8月18日から9月10日まで、大雄地域内32会場で「集落座談会」を開催しました。これは、毎年、地区会議と共催で行っているものであり、今年で8回目となります。座談会には、地域局長はじめ地域局の各課職員が4班編成で出席しました。各集落とも夜間の開催でしたが、計298人のご参加をいただき、マイナンバー制度やごみの新しい分別方法の説明を行ったほか、338件の多様な分野にわたる要望や意見が出され地域住民の皆様と市政全般について意見交換をすることができました。座談会で出された要望や意見は、今後の地域づくり事業や地区会議事業に反映してまいります。 |
| まちづくり推進部 (大雄地域局) | 大雄地域スポーツレクリエーション大会について 10月10日、「楽天イーグルス スタジアム大雄」を会場に「大雄地域スポーツレクリエーション大会」が開催されました。 この大会は、地域住民の健康増進と世代間交流を目的に、1月から行っている「スポーツフェスタたいゆう」のメイン行事として、横手市体育協会大雄支部、大雄地域スポーツ推進委員会と大雄地域づくり協議会を中心とした実行委員会を組織して開催しています。 当日は、夜半の降雨で屋外での開催が危ぶまれましたが、幸いにも好天となり約700名の参加者がそれぞれの競技で気持ちよく汗を流しました。また、会場内では、婦人会、火災予防組合を中心とした炊き出し訓練も行われ、スポーツを楽しんだ参加者に、いものこ汁600人分が振る舞われました。 |
| まちづくり推進部 (大雄地域局) | 徘徊見守り訓練について 10月22日、認知症への理解を深め地域のみんなで認知症の方を支える取組みとして、田村地区において「大雄地域徘徊見守り訓練」を実施しました。訓練には市民61人が参加し、認知症への理解を深めるための認知症サポーター養成講座を受講した後、徘徊役の方が実際に新町集落内を徘徊し、声かけ体験を行いました。 訓練終了後、参加者による振り返りの会を開催し、訓練に参加しての感想や、家族や身近な人が行方不明になった時の心得などについて話し合いました。 |
| まちづくり推進部 (大雄地域局) | 第9回大雄芸術文化祭について 10月24日から28日までの5日間、大雄交流研修館と大雄農業団地センターを会場に、大雄芸術文化協会主催の「第9回大雄芸術文化祭」が開催されました。 24日から行われた作品展示には、写真や書道をはじめとする会員の力作180点余りが展示され、多くの皆様に鑑賞していただきました。 また、24日にはステージ発表が行われ、約200人の観客を前に、13団体と個人、延べ146人が日頃の稽古の成果を披露しました。 |
| まちづくり推進部 (大雄地域局) | たいゆう緑花園押し花コンテストについて たいゆう緑花園の花々を押し花にし、心に残る一言を書き添えた絵手紙のコンテストを実施しました。「押し花に心をそえて・・・」をキャッチフレーズとしたコンテストは今年で10回目となります。市内外から183点の応募があり、11月21日に審査会を開催し、中学生以上の「大人の部」と小学生以下の「子供の部」で、それぞれ特選1点、準特選1点、入選3点を決定しました。これらの作品は、「ゆとりおん大雄」に1年間展示いたします。 |

平成27年9月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概要等 |
|-------|--|
| 健康福祉部 | <p>ちびっこわくわくフェスティバルについて</p> <p>10月4日山内公民館において、子育てサークル等が主体となり、ちびっこわくわくフェスティバルを開催しました。当日は373人の親子にご来場いただき、ダンボール迷路やお菓子のつかみ取りなどのコーナー、ミニ運動会などで楽しんでいただきました。また、横手やきそば、いものこ汁の振舞いも実施し、好評をいただきました。</p> |
| 健康福祉部 | <p>「児童虐待・DV防止講演会」開催について</p> <p>11月3日、横手市交流センターY2ぶらざ1階オープンスペースを会場に児童虐待やDVのない社会を目指して「児童虐待・DV防止講演会」を開催し、約150人の参加がありました。</p> <p>当日は「株式会社越谷心理支援センター」から秋山邦久氏をお招きし、「子育てを もっと楽に もっと楽しく」と題して講演をいただいたほか、会場での啓発チラシの配布を行いました。</p> <p>また、同日、国際ソロブチミスト横手からの協力をいただき、イオンスーパーセンター横手南店での啓発チラシ配布も行いました。</p> |
| 農林部 | <p>市制施行10周年記念「よこて農業祭」について</p> <p>10月17日、18日の両日、横手体育館を会場に市制施行10周年及びよこて発酵文化研究所設立10周年を記念した、「よこて農業祭」を開催しました。来場者の皆様には、農業と農産物、食育などに関連する様々な催しを楽しんでいただきました。</p> <p>初日は、優良農業者表彰、発酵文化研究所顧問の小泉武夫氏による記念講演、トークセッション、発酵文化大使である歌手・岩本公水さんライブなどを開催しました。</p> <p>2日目は、平鹿総合病院・平山克院長の記念講演、増田高校並びに横手清陵学院高校の生徒による農業学習の意見発表、タレント・壇蜜さんのトークショー、「道を開き、未来につながる農業」をテーマとしたパネルディスカッションを開催しました。</p> <p>また、発酵料理コンテストや学校給食メニューの提供、農産物の展示と販売を行ったほか、軽食販売や消防体験、ポニー馬車の乗車など、大人も子供も楽しめるコーナーを開設しました。</p> <p>雲ひとつない秋晴れの下、2日間でおよそ4,000人のご来場をいただきました。開催前週の台風23号で被害を受けた「訳ありりんご」の販売コーナーは、行列ができるほどの賑わいを見せ、発酵文化研究所10周年記念事業やトークショー、パネルディスカッションなどとあわせ、多くの市民の皆様は横手の「農」と「食」に触れていただき、今後の市農業の未来を考えていただく機会とすることができました。</p> |
| 商工観光部 | <p>横手ものづくりネットワーク会議について</p> <p>10月19日、情報交換やビジネスマッチングの促進による産業の活性化を目的として、市内企業の本社、親会社、取引先等を対象に、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷において、「第3回横手ものづくりネットワーク会議」を開催しました。</p> <p>当日は30企業、5団体から62人の参加があり、当市によるプレゼンテーションやヤマトパッキングサービス株式会社 代表取締役社長 金井宏芳氏による講演会を行いました。講演会に引き続き、横手市産の食材を使ったビュッフェ形式での交流会を開催し、情報交換や懇親をさらに深めました。</p> |

平成27年9月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概 要 等 |
|--------------|--|
| 商工観光部 | <p>第47回よこて菊まつりについて</p> <p>第47回よこて菊まつりが10月31日から11月9日までの10日間の日程で、秋田ふるさと村を会場に開催されました。</p> <p>今回は菊の開花時期にあわせ、会期を1週間遅くし、開会時から見事な菊花が出揃いました。</p> <p>会場では、約3,000鉢の菊花が展示され、「市制施行10周年」を記念する展示や観光資源である「横手やきそば」などを玉菊アートで表現するなど、深まる秋に彩りを添え、訪れる観光客の目を楽しませました。</p> |
| 教育総務部 | <p>第2回雄物川郷土資料館特別展について</p> <p>7月25日から10月12日まで、第2回雄物川郷土資料館特別展「清原氏と平安のかがみ 全二十一面勢ぞろい」を開催し、平安時代後期を中心に、県内に現存する鏡を一堂に集めた貴重な展示会となりました。8月2日の後三年合戦沼柵公開講座や10月9日の秋田県文化財保護協会研修会など、関連行事の効果もあって、市内外から1,060人の方々に来館いただきました。また、今回の特別展をきっかけに、同様の鏡を持っているという所有者の方から、市に対して鑑定の依頼が寄せられるなど、大きな反響をいただきました。</p> |
| 教育総務部 | <p>創作こども歌舞伎「御存知後三年蛙會戦」上演について</p> <p>9月22日、新生雄物川小学校のこけら落とし公演として、創作こども歌舞伎「御存知後三年蛙會戦」が上演され、市内の5小学校と地元の保育園児が稽古の成果を披露しました。歌舞伎の芝居小屋さながらに飾り付けられた体育館につめかけた420人余りの観客は、地元直売会によるもちつき実演や、いもの子汁の振舞いなどでお芝居の雰囲気を楽しみながら、横手らしさを随所に盛り込んだ本格的な舞台を通して、後三年合戦の世界を堪能していました。</p> |
| 教育総務部 | <p>金沢柵推定地金沢城跡発掘調査現地説明会について</p> <p>9月26日、後三年合戦の決戦場、金沢柵の推定地である金沢城跡安本館において、今年度の発掘調査の解説を行いました。今回の調査で確認された、昭和40年代の四面庇付掘立柱建物跡3棟の再調査結果を含め、500基以上の柱穴と15世紀の白磁碗皿、青磁碗などの出土品が報告されました。建物については、柱間や寸法の精査が必要な検証段階の報告ではありましたが、市内外から100人の方々に参加いただき、関心の高さがうかがえました。</p> |
| 教育総務部 | <p>平成27年度秋田県文化財保護協会県内研修会について</p> <p>10月9日、雄物川コミュニティセンターと雄物川地区の史跡などを会場として、秋田県文化財保護協会が主催する平成27年度秋田県文化財保護協会県内研修会が開催されました。県内各支部の会員と市民合わせて242人の参加者に対し、沼柵と沼館城についての解説を行った後、沼館八幡神社、蔵光院、雄物川郷土資料館、民家苑木戸五郎兵衛村をシャトルバスで見学いただき、全県に横手と後三年合戦関連遺跡を詳しく発信する機会となりました。</p> |

平成27年9月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概要等 |
|--------------|---|
| 教育総務部 | <p>図書館資料デジタル化事業について</p> <p>本年度、横手図書館では「週刊たいまつ」新聞のデジタル化事業を実施しております。この新聞はむのたけじ氏が昭和23年から30年にわたり横手市で発行した全国的に知名度の高い新聞です。また、戦後の横手市や県南の様子・商店の広告なども掲載されており、当時を知る上での貴重な郷土資料でもあります。しかし、横手図書館では、全780号中547号分しか所蔵しておらず、今回、むの氏からのご協力を得たことにより、全号のデジタル化が可能となりました。</p> <p>デジタル化の作業は、現在、最終段階の色調等の調整に入っており、来年度当初には専用端末による公開ができる予定となっております。</p> <p>また、去る10月13日には、むの氏のご厚意で「ふたつの世紀を横手に生きて」と題した講演会を条里南庁舎で開催し、多くの報道機関を含む、300名近い方においでいただきました。</p> |
| 教育指導部 | <p>幼保小連携に係る相互理解のための研修会の実施について</p> <p>児童が小学校に入学するにあたり、小学校と保育所等との連携が円滑に行われるよう幼保小相互理解を深めることを目的に、小学校及び保育所に対し次の研修会を開催し、講話を行いました。</p> <p>●小学校に対しての研修会</p> <p>8月19日条里北庁舎において、市内小学校教頭、教務主任及び養護教諭を対象にした市教育委員会主催の「幼保小連携に係る相互理解のための研修会」を開催し、42名の参加のもと、市子育て支援課担当による「子ども・子育て支援新制度」の説明や市内保育所長による「保育所の状況」について講話を行いました。</p> <p>参加者からは、「連携の重要性を再認識し大変有意義であった」等の感想をいただきました。</p> <p>●保育所に対しての研修会</p> <p>8月27日セントラルホテルで開催された横手市保育協議会主催の研修会において、市内保育所長及び主任保育士46名を対象に市教育指導課職員による「特別支援教育の現状」や「学校から見た幼保連携」についての講話を行い、参加者からは、「特別支援教育開始までの流れや学校側の考え方を聞くことができ大変参考になった」等の感想をいただきました。</p> |